

## 福井の里地里山

福井県は、豊かな降水量と四季の変化に富んだ気候に加え、水源となる豊かな広葉樹林、複雑に入り組んだ谷筋などの自然条件にも恵まれ、古くから、二次林と水田の入り混じった、いわゆる「里山」が形成されてきました。

加えて、比較的狭い地域の中に、山、里、川、海、湖といった多様なタイプの生態系が存在し、典型的な日本の里地里山風景が凝縮されています。

また、米・そば・海産物など里山で培われた食材、和紙・漆器など里山の素材を活かした工芸品、県内各地に伝わる自然を敬う祭礼・習俗など、豊かな里山の恵みにあふれた地域です。



左から、大野市の水田、九頭竜川（福井市）での鮎釣り、坂井市での地引き綱



左から、福井発祥のお米「コシヒカリ」、越前市の伝統工芸 越前和紙「紙漉き」、小浜市の神事「お水送り」

## 代表的な里地里山

### 〈白山・坂口地区（越前市）〉

越前市の白山・坂口地区は、福井県を代表する里山景観であると同時に、様々な希少野生動植物が生息する地域です。

白山・坂口地区では、かつてこの地に生息したコウノトリを呼び戻すプロジェクトが行われています。農家の人たちはコウノトリの餌となる小魚やカエルが生きていけるよう、農薬や化学肥料を使用しない方法によるコメ作りに取り組んでいます。



### 〈三方五湖（美浜町、若狭町）〉

三方五湖は、長い年月をかけ、人間による利用の中で形作られてきた里湖です。湖の周辺には、古くから人が住みつき、漁業や畑作、稲作などを営んできました。平成17年には県内で初めてラムサール条約に登録されました。

三方五湖では、水辺の環境を再生するため、地域の農家、漁業者、自然保護団体などは、水質の浄化や湖周辺の水田における魚の産卵場所の回復など、様々な取組みを協力して行っています。

